

**令和5年度 日本学生支援機構大学院
【修士課程・博士後期課程対象】
第一種奨学生貸与終了予定者に係る
返還免除候補者募集要項**

甲南大学学生生活支援センター

1. 制度の趣旨・対象者

【制度の趣旨】

- 本制度は、大学院で第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、貸与期間中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した人を対象に、その奨学金の全額または半額を返還免除する制度です。

【対象者】

- 大学院第一種奨学生であって令和5年度に貸与が終了する者のうち、当該奨学金の貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる者。
- 奨学金の貸与期間中に特に優れた業績を挙げ、指導教員から推薦された者。
- 令和4年度において、新型コロナウイルス感染症の影響により、貸与期間中に業績を挙げることができず、「令和4年度 業績優秀者返還免除申請期間延長届」を提出した者

(注) 令和5年度以降に博士課程において第一種奨学生として採用された者で、博士課程在学中に国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が実施する「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム」（以下、「フェローシップ事業等」という。）の支援を受けた者は対象外です。詳細は次頁をご確認ください。

※JASSOのHPにおいて「特に優れた業績による返還免除」を「業績免除」と省略されていますので、本要項においても「業績免除」と省略して説明します。

「業績免除」の対象外となる者（[日本学生支援機構HPより](#)）

令和5年度以降に博士（後期）課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程（以下、「博士課程」という。）において第一種奨学生として採用された者で、博士課程在学中にフェローシップ事業等の支援を受けた者

（注意事項）

1. フェローシップ事業等の支援期間にかかわらず業績免除認定の対象外となります。フェローシップ事業等の支援期間と第一種奨学金の貸与期間が重複していない場合であっても同様です。
2. 博士課程返還免除内定者がフェローシップ事業等の支援を受けた場合は、内定は取消しとなり業績免除認定の対象外となります。
3. 令和5年度以降に博士課程において第一種奨学生として採用された者が業績免除の認定を受けた後、当該課程においてフェローシップ事業等の支援を受けていたことが判明した場合は、遡って免除の認定を取り消します。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/seidogaiyo/choufukukinshi.html>



2. 具体的な評価項目

- 貸与期間中に在学している課程で、特に優れた業績を挙げる必要があります。
- 別紙「甲南大学における特に優れた業績の評価項目」を参照してください。

甲南大学における特に優れた業績の評価項目

【注意事項】

- ① 評価項目の番号は、独立行政法人日本学生支援機構に関する省令第 36 条の専攻分野に関する業績の番号と一致している。
- ② 修士課程の貸与終了者は、学部の業績を含めないこと、博士後期課程・専門職課程の貸与終了者は、学部及び修士課程の業績を含めないこと、博士後期課程 1 年次で内定候補者に申請する者は、学部の業績を含めないこと。
- ③ 貸与終了者が申請できる業績は、奨学金の貸与期間中に挙げた業績に限る。例えば、2 年次から貸与を開始した者は、1 年次の業績を含めないこと。なお、博士後期課程 1 年次で内定候補者に申請する者は、奨学金の貸与の有無に関わらず、修士課程の業績を含めることができる。

【特に優れた業績の評価項目】

1. 学位論文その他の研究論文

学位論文の教授会での高い評価、関連した研究内容の学会での発表、学術雑誌への掲載又は表彰等、当該論文の内容が特に優れていると認められること。

- (ア) 学位論文が特に優れている。
- (イ) 学位論文以外の研究論文が特に優れている。
- (ウ) 学会等から賞を受けた。
- (エ) 学会誌、学術誌に採り上げられた。
- (オ) 学会で発表され、高い評価を得た。

2. 大学院設置基準第 16 条に定める特定の課題についての研究の成果

特定の課題についての研究の成果の審査及び試験の結果が教授会等で特に優れていると認められること。

- (ア) 特定の課題についての研究の成果が特に優れている。

4. 著書、データベースその他の著作物

専攻分野に関連した著書、データベースその他の著作物等(前述の 1 及び 2 に掲げる論文等を除く。)が、社会的に高い評価を受けるなど、特に優れた活動実績として評価されること。

- (ア) 専攻分野に関連した著書が社会的に高い評価を受けている。
- (イ) 専攻分野に関連したデータベースが社会的に高い評価を受けている。
- (ウ) 専攻分野に関連したその他の著作物等が社会的に高い評価を受けている。

5. 発明

特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を得ていると認められること。

- (ア) 特許・実用新案等が優れた発明・発見として高い評価を受けている。

6. 授業科目の成績

講義・演習等の成果として、優れた専門的知識や研究能力を修得したと教授会等で高く評価され、特に優秀な成績を挙げたと認められること。

- (ア) 講義、演習等で特に優秀な実績を修めた。

7. 研究又は教育に係る補助業務の実績

リサーチアシスタント、ティーチングアシスタント等による補助業務により、学内外での教育研究活動に大きく貢献し、かつ特に優れた業績を上げたと認められること。

- (ア) リサーチアシスタントとして特に優秀な実績を修めた。
- (イ) チューターとして特に優秀な実績を修めた。
- (ウ) ティーチングアシスタントとして特に優秀な実績を修めた。
- (エ) テクニカルインストラクターとして特に優秀な実績を修めた。

8. 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連した国内外における発表会等で高い評価を受ける等、特に優れた業績を挙げたと認められること。

- (ア) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績

10. ボランティア活動その他の社会貢献活動が高い評価を受けている。

教育研究活動の成果として、専攻分野に関連したボランティア活動等が社会的に高い評価を受ける等、公益の増進に寄与した研究業績であると評価されること。

- (ア) ボランティア活動その他の社会貢献活動が高い評価を受けている。

注: 自身の専攻に関連するボランティアであること。一般的なボランティアは含めることはできない。

3. 手続きの概要・認定

- 申請は、奨学金の貸与が終了した月が属する年度に行う必要があります。該当する年度に大学に申請し、大学から日本学生支援機構に推薦された人を対象に、日本学生支援機構において審査のうえ決定します。

※申請年度は大学院を修了した年度とは限りません。機会を逃すと申請できませんのでご注意ください。

- 返還免除には「全額免除」と「一部（半額）免除」があります。各研究科から推薦された学内候補者全体の上位約3分の1以内の者が「全額免除」、それ以外の者が「一部（半額）免除」と認定されます。但し、候補者が2名以内の場合は、この限りではありません。
- 最終認定は、日本学生支援機構が決定します。同機構による審査の結果、大学から推薦した者が「非認定」となる場合もあります。

4. 申請書類一覧【チェックリスト】

※申請に必要な電子ファイル（様式）は、My KONAN掲示画面に添付しています。
My KONAN掲示画面からダウンロードしてください。My KONANメール転送画面には添付されません。

チェック	申請書類	備考
	(1) 【日本学生支援機構様式1】 「令和5年度 業績優秀者返還免除申請書」《Excel》	<input type="checkbox"/> My KONAN掲示画面よりダウンロード <input type="checkbox"/> PCで作成 <input type="checkbox"/> 窓口持参・メールの両方 で提出 scholarship@adm.konan-u.ac.jp
	(2) 【甲南大学様式A】優れた業績を証明する資料一覧（資料の目次）及び業績を証明する主な書類（参照）《Excel》	<input type="checkbox"/> My KONAN掲示画面よりダウンロード <input type="checkbox"/> PCで作成 <input type="checkbox"/> 窓口持参・メールの両方 で提出 scholarship@adm.konan-u.ac.jp
	(3) 優れた業績を証明する資料一式《様式自由》	<input type="checkbox"/> 窓口持参
	(4) 【甲南大学様式】 日本学生支援機構第一種奨学金貸与終了時「特に優れた業績による返還免除候補者」推薦理由書《Excel》	<input type="checkbox"/> My KONAN掲示画面よりダウンロード <input type="checkbox"/> 学生自身が指導主任に作成を依頼 <input type="checkbox"/> 窓口持参（厳封）

5. 提出書類【詳細】

~~※添付の【資料の必要項目及びページ数】のとおり、最大ページ数内で必要項目の内容が含まれるように資料をご準備ください。~~

(1) 【日本学生支援機構様式1】

「令和5年度 業績優秀者返還免除申請書」

- この様式を作成する前に、次項の【甲南大学様式A】優れた業績を証明する資料一覧（資料の目次）を作成してください。様式Aの内容と様式1の内容が一致するように転記してください。資料番号は、様式Aの評価項目の番号・（カナ）・行と一致するようにしてください。
- 記入例をよく確認し、パソコンで作成してください。

※「2. 大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究の成果」は、学位論文以外で修了要件となる研究成果が課されている場合です。該当する場合は、あらかじめ当センターまでご相談ください。

5. 提出書類【詳細】（続き）

(2) 【甲南大学様式A】優れた業績を証明する資料一覧（資料の目次）及び優れた業績を証明する資料一式

- 別紙「甲南大学における特に優れた業績の評価項目」に基づき、優れた業績の証明書類を提出してください。様式Aは資料の目次として使用しますので、目次に記載のない資料は業績として認められません。資料番号の記載がない資料も、業績として認められません。
- 様式Aはパソコンで作成してください。
- 博士後期課程については、原則として、「学位論文その他の研究論文」の業績を評価の対象とする必要があります。業績「学位論文その他の研究論文」を中心に日本学生支援機構の定める評価基準をより具体化するため、別紙「**博士課程の業績評価に関するガイドライン**」が設けられています。必ずご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/seidogaiyo/hyoka.html>



令和元年 11 月 21 日改定

博士課程の業績評価に関するガイドライン

博士課程において、業績の種類「学位論文その他の研究論文」が下記の(1)～(5)のいずれかに該当する場合、業績優秀者とする。(※1)

なお、返還免除内定者である場合、及び、業績の種類「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」あるいは「スポーツの競技会における成績」において、国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等を取めている場合（※2）は、下記の(1)～(5)のいずれにも該当しない場合でも業績優秀者として認めることができる。

記

- (1) 学位論文の教授会での高い（平均水準以上）評価
(注) 合否判定だけでなく、大学による評価が必要。学位論文受理中を含む。
- (2) 査読付き学術雑誌への原著論文掲載
(注) 共著（筆頭者以外）も含み、掲載決定（予定）も含む。
- (3) 論文及び学会での発表に対する表彰又は受賞
(注) 共著（筆頭者以外）も含み、機構以外の給付奨学金の獲得や外部資金の獲得を含む。学会での発表にはポスター発表も含む。
- (4) 日本学術振興会の特別研究員に採用され奨学金貸与を辞退した場合、または、これと同等な民間財団等が公募している競争的資金を獲得することにより奨学金を辞退することとなった場合、上記(1)～(3)に準じる実績
- (5) 研究領域の特性により前記(1)～(3)の実績を挙げるのに時間を要することなどから、同じ研究領域の博士課程学生のうち概ね半数以上が在学中に当該実績を挙げられない場合は、当該実績に準じる実績
(注) 大学が作成する事情書を要し、日本学生支援機構の業績優秀者奨学金返還免除認定委員会（以下、「本機構の認定委員会」という。）に諮るものとする。

(※1) 平成30年度以前に奨学生に採用された者については、「学位論文その他の研究論文」以外の業績において上記(1)～(3)と同水準の実績が認められる場合も業績優秀者とする。

(※2) 業績の種類「スポーツの競技会における成績」における国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等には、本人がコーチやトレーナーなどの場合において指導した者やチームが国際的レベルや全国的レベルの大会での入賞を含めるものとし、東日本大会・関東大会など（各都道府県大会は除く）は全国的レベルの大会に含めるものとする。

業績の種類「音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」における国際的レベル・全国的レベルでの顕著な成績（入賞）等には、公募展での入選（賞）、給付奨学金の獲得、個展又はリサイタル（3回以上）及び芸術評論等（学外の刊行物への掲載3回以上）を原則的に含めるものとする。ただし、本機構の認定委員会に諮るものとする。

◆ 修士課程(博士前期課程)及び専門職学位課程は本ガイドラインの適用対象外とする。

「業績を証明する主な書類」に関する注意事項

- 「1. (ア) 学位論文が特に優れている」及び「1. (イ) 学位論文以外の研究論文が特に優れている」については、次の書類を1～3の順に並べて、クリップでとめて、提出してください。
 - 1. 申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日等が分かる部分の写し
 - 2. 論文内容の概要（要約・抄録）（様式自由1,2枚程度）
 - 3. 論文全体の写し
- 「1. (エ) 学会誌、学術誌に採り上げられた」については、論文のタイトル・著者名のみならず、採り上げられた論文箇所の写しを添付してください。査読有りの場合は、査読結果通知など、査読されたことが分かるものを添付してください。 紀要については、審査があった場合、査読されたことが分かるものを添付してください。（査読有りの場合で、査読結果通知などの査読されたことが分かるものが発行されない場合は、論文が受け付けられたことがわかるものを添付してください。）
- なお、学術論文を提出しているが、印刷中の場合や投稿・査読中の場合は、備考にその旨を記載し、査読結果通知や投稿論文受領通知などを提出してください。 掲載年月には、○年○月掲載予定と記載してください。

「業績を証明する主な書類」に関する注意事項（続き）

- 「1. (オ) 学会で発表され、高い評価を得た」の査読有りの場合は、査読結果通知など、査読されたことが分かるものを添付してください。（査読有りの場合で、査読結果通知などの査読されたことが分かるものが発行されない場合は、論文が受け付けられたことがわかるものを添付してください。）
- なお、連名での学会発表については、学会発表に使った論文等について、論文の担当箇所（写し）を提出すると共に、備考欄に「連名発表」と記載してください。代表者の場合は「連名発表の代表者」と記載してください。論文の担当箇所の提出が難しい場合は、連名で受け付けられたことが分かるメールの記録や、連名発表で自身がどのような役割を果たし、どのような業績を残したかがわかるよう指導主任に一筆を書いてもらってください。（日本学生支援機構によると、連名発表の場合は、指導主任の一筆があった方が望ましいとのことです。）
- また、申請後に学会に参加する予定である場合は、参加する予定の学会のプログラム（表紙・目次・該当ページ）の写しや、論文が受け付けられたことがわかるものを添付してください。会期には、〇年〇月〇日発表予定と記載してください。発表後に査読結果通知や賞・評価等が届いた場合は、後日提出して頂いて構いませんが、研究科内の候補者選考が終わっている場合は評価の対象にならないことをお含みおきください。
- 学業成績を業績として証明する場合は、今年度前期までの学業成績証明書を提出してください。
- 「4.著書、データベースその他の著作物」、「8. 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績」、「10. ボランティア活動その他の社会貢献活動」については、自身の専攻に関連する業績でなければなりません。また、特許やボランティア活動に係る業績を証明する書類について、申請者が参加されたことの確認が取れない書類（写真や新聞記事など）を提出されることがあります。これらは不備となりますので、申請者本人が参加されたことが分かる書類（参加した活動の名称が記載された参加者名簿など）を提出してください。
- 自身の専攻に関連する資格を取得し、業績として証明したい場合は、「6.授業科目の成績」（有）に〇を付け、資格取得証明書の写しを添付してください。
- 「7.研究又は教育に係る補助業務の実績」については、労働条件通知書を提出してください。労働条件通知書を提出できない場合、勤務管理表に、勤務内容や労働期間・労働時間・担当科目名等、できるだけ具体的に書かれたものを提出してください。コピーや資料整理等の作業ではなく、専門知識を生かして、教育研究活動に貢献した、ということが重要です。特に優れた業績の支えとなる業務内容でしたら、評価の対象となり得ます。

5. 提出書類【詳細】（続き）

~~※添付の【資料の必要項目及びページ数】のとおり、最大ページ数内で必要項目の内容が含まれるように資料をご準備ください。~~

（3）【甲南大学様式】

日本学生支援機構第一種奨学金貸与終了時「特に優れた業績による返還免除候補者」推薦理由書

大学に登録されている指導教員に作成を依頼し、厳封の状態を受け取ってください。手書きでもパソコン入力でも構いませんが、押印がないものは無効です。推薦書用封筒の様式は自由です。

（4）学位論文の写し

- 学位論文の写しは、業績の評価項目1.（ア）の学位論文が特に優れているかどうかに関わらず必ず提出してください。
- ※提出後、差し替えを希望する者は、研究科事務室に差し替えた論文を持参してください。ただし、各研究科における書類選考までの期間に限ります。差し替え期限は各研究科によって異なります。あらかじめ、学部事務室にご自身で確認してください。また、差し替える時は、該当部分のみならず論文一式を、次のとおり1～3の順に並べて、クリップでとめて、提出してください。
 - 1. 申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日等が分かる部分の写し
 - 2. 論文内容の概要（要約・抄録）（様式自由 1,2枚程度）
 - 3. 論文全体の写し

6. 提出書類の提出期限・提出先

研究科	提出期限（学位論文以外）	提出期限（学位論文）	提出先 ※学位論文の差し替えは各学部事務室へ提出
人文科学研究科 社会科学研究科 自然科学研究科		<p><u>学生生活支援センターへの提出期限： 令和6年2月7日（水）17時厳守</u></p> <p>※人文科学研究科への学位論文提出期限は、令和6年2月6日（火）13時～16時（時間厳守）のため、2月7日（水）以降の差し替えはできません。</p> <p>※自然科学研究科への差し替え期限： <u>令和6年2月15日（木）17時厳守</u></p>	学生生活支援センター （岡本キャンパス iCommons 2階）
フロンティアサイエンス研究科	<p><u>令和6年1月18日（木） 17時厳守 ※期限以降の 提出は一切認められません。</u></p>	<p>※フロンティアサイエンス研究科への 差し替え期限は、<u>ポートアイランド キャンパス事務室にご相談ください。</u></p> <p>※<u>期限以降の提出・差し替えは、一切 認められません。</u></p>	ポートアイランドキャンパス事務室

7. 学内選考

修士課程

- 提出書類により学内選考を行います。

博士後期課程

<第1次選考>

各研究科ごとに書類選考を行います。

<第2次選考>

候補者によるプレゼンテーション選考（書類審査）

- 研究業績にプレゼンテーション（20分以内）及び質疑応答（10分程度）の結果を含めて選考します。
- 候補者が1名の場合、プレゼンテーション選考は実施しません。
- 実施時期は、**令和6年3月19日（火）**の予定です。
- 実施日以前に、接続等の確認を行います。プレゼンテーションに必要なパソコン、接続ケーブル、変換アダプタ、ポインタ等を持参し、必ずお越してください。実施日当日、プレゼンテーションの準備は全て発表者が行います。トラブル対応はできません。

※第2次選考の詳細は、第1次選考通過者のみにお知らせします。

第2次選考「プレゼンテーション実施要領」 (詳細は第1次選考通過者のみにお知らせします。)

- プレゼンテーションに必要なパソコン、接続ケーブル、変換アダプタ、ポインタ等を持参する。
- プレゼンテーションの準備は全て発表者が行う。
- 自身の研究成果とその意義、今後の課題、発展性について、スライドを用いて20分以内で発表する。
- 可能な限り専門外の方が理解できるよう説明すること。
- スライド以外の資料配付を希望する場合は、A3用紙1枚（裏表の使用可）以内にまとめ、12部持参すること。
- 発表後、質疑応答の時間を10分程度とる。
- スライドの文字が見えづらい場合があるため、スライドの資料を以下のとおり準備し、事前に提出すること。
 - **A 4 横向き**の1枚にスライド4枚が入るように縮小する。
 - **カラー印刷**する。
 - **12部持参**する。

8. 結果通知

1. 学内選考

- 推薦することが決まった方にのみ、メール又は電話でご連絡します。

※電話番号・メールアドレスに変更が生じた場合は、速やかにご連絡ください。

※日本学生支援機構での審査の結果、大学から推薦した者が「非認定」となる場合もあります。

2. 最終決定

- 7月下旬頃、日本学生支援機構から直接本人宛に郵送にて通知が届きます。なお、本人宛の通知は令和6年6月末時点で機構に登録されている住所に送付します。宛先不明により機構へ返送された場合、原則、再送付されません。転居の際には、速やかにスカラネット・パーソナルで登録住所の変更を行い、郵便局へ転送依頼をしてください。また、返還免除の認定結果は、スカラネット・パーソナルで確認できます。

奨学金に関するお問い合わせをしたい方 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/oyakudachi/toiawase/index.html>

奨学金相談センター 電話：0570-666-301（ナビダイヤル）

海外からの電話、一部携帯電話、一部IP電話からは03 - 6743 - 6100

月曜～金曜：9時00分～20時00分（土日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く）

（奨学金に関する来訪による相談は受け付けておりません）



9. 制度の情報、お問い合わせ先

- 本情報は、日本学生支援機構HPに掲載されています。
- ホーム>奨学金>在学中の手続き>特に優れた業績による返還免除制度について

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/index.html>



<お問い合わせ先>

甲南大学学生生活支援センター奨学金係

078-435-2702

scholarship@adm.konan-u.ac.jp

<https://www.konan-u.ac.jp/life/shien/sas/scholarship/>



<お問い合わせ時間>

電話：平日9時～17時

Mail：開室時間外は返信できません。お急ぎの場合は、お電話又は窓口にて、お問い合わせください。